

「別宅」づくりのお奨め

仕事、子育てから解放されてからの人生の時間は 20 年～40 年ほどあります。

長かったようにおもう小中高を合わせても12年間です。

それよりもずっと長い時間が人生の放課後として用意されています。

かつて、放課後は開放感のある楽しい時でした。

私たちは、人生の放課後をどのようにすれば楽しく過ごせるのでしょうか？

図書館やフィットネスクラブ、テニスクラブ、ゴルフ、釣り、合唱、山登り、サイクリング、温泉巡り、観劇、旅・・・などいろいろ過ごし方はあります。でも、毎日外で遊ぶことは困難です。

家にいる時間は意外と長いものと思います。

ですが、

家にいることが多いと気が塞いできたりして、健康に良くないようです。

長年、高齢者の方のライフスタイルをみてきまして、好きなことをする別宅をもたれている方が、お元気にはつらつと人生の放課後を過ごされていることに気づくようになりました。

別荘や別邸などという大袈裟なものではなくて、自宅の横とか、近くに、書を書いたり、ギターを弾いたり、本を読んだり、映画や音楽オーディオを楽しんだり、書画骨董を集めたり・・・人によって遊び方は違いますが、大好きな遊びのための別宅をもって、日中は自宅から出てその別宅で遊んで過ごすライフスタイルです。

中には、多趣味の方で趣味ごとに違う10室程度の別宅をつくり、部屋を移動しながら楽しんでおられるかたもいます。

自宅ではどのように仲がいい夫婦や家族でも多少趣味や感性が違いますので、文句をいいあい、我慢をしている部分も多少でてくるとおもいます。そのような我慢から開放される世界は自宅の中においては、なかなか困難ですので、一步外に出て過ごせる別宅につくるのです。

例え、別宅が庭先や隣地にあっても開放されます。かえって、遠くに行かずに近くにあるほうが気軽に開放感に浸れるようです。

別宅は思い切り我が儘な自分だけの世界です。

実は、ここ数年、本宅の横や近くに遊びを主体とした別宅を設けるプロジェクトのご依頼が増えてきています。今も、数件の別宅プロジェクトが進行中です。

依頼者の方々は皆様、前向きで、楽しく、お元気で澁刺とされています。

人生の放課後の過ごし方として自宅の近くに「遊びの別宅」をつくることをお奨めします。